

東海農政局農地・水保全管理支払交付金表彰

【東海農政局長賞】

特に、水路、農道等資源の保全管理に対する取組の評価が高い組織

○ 大野木環境保全会（三重県）

大野木地区は、1自治会、1営農組織、4水利組合からなり組織の円滑な運営のため毎月1回合同会議を開催している。

地域住民が協力して、フレハブ水路の吸い出し補修や、フリューム水路の嵩上げ工事を直営施工で行なうとともに、用水路路肩等に木製プランターを設置し、保育園、小学生により前面に絵を描いて植栽をしている。

また、共同活動について3日間設定し都合の良い日に参加してもらうようにすることにより、より多くの住民が参加できるよう工夫している。



自分たちで実施するフリュームの付設替え



地域住民が参加する共同活動

【全国農村振興技術連盟賞】

特に、農村の環境保全に対する取組の評価が高い組織

○ 下池地域農地・水・環境保全管理組合（岐阜県）

「下池ビオトープ絶滅危惧種のウシモツゴ放流会」を開催し、大江小学校、琵琶湖博物館の協力を得て、地域の絶滅危惧種の淡水魚ウシモツゴを24年ぶりに下池に復元放流した。

地域資源の質的向上を図る共同活動として、岐阜県、東海タナゴ研究会と協力し、水田魚道の設置、定期的な生き物調査を実施している。



下池ビオトープでの池干し体験



水田魚道の生物調査

【中日新聞社賞】

特に、広報や啓蒙に対する取組の評価が高い組織

○ 有脇の農地・水・緑を守る会（愛知県）

地区内の5つのため池について、小学校の課外授業として「かいどり大作戦」（＝池干し）を実施し、環境向上のための清掃や外来種の駆除及び在来種の保護に努めると共に、子供や地域住民にため池保全の重要性を啓発している。活動の結果、参加者も平成19年度当初の180人から現在では400～500人に増加した。農業者と非農業者が一体となって活動を行ったことから両者の交流が深まり、地域の仲間としての連帯感が生まれ、更なる地域の一体化と活性化が進み、豊かな地域作りにつながっている。



かいどり大作戦



ため池の定期的な清掃・修繕